

越後国の律令祭祀 木製祭祀具を中心にして

水澤 幸一（胎内市教育委員会）

1. 清水（しうつ）潟水系遺跡群

今回主に対象としたのは、原越後といいいう越国北端の旧国府所在地沼垂郡の北端にあたる清水潟周辺の地域である。この一帯の地理的状況は、清水潟の北方5kmを西流する胎内川が阿賀野川・信濃川河口以北の分水嶺であり、以南の水流は海岸砂丘に阻まれ、すべて沼垂へと集まる。したがって巨大な沼湖が点在していたのである、交通の基本は内水面にあったと考えられる。

2. 祭祀具の種類と時期（表）

水辺の祭祀を明瞭に意味する遺物として、人形・馬形・船形をはじめとする形代類や斎串、箸状木製品、人面墨書き土器などがあげられる。ここでは、加えてその可能性があると筆者が考える火鑽板、付木、独楽、櫛、檜扇、琴柱、糸巻、弓、鋤鍬、そして盤を加えて、一覧表を作成した。

形代には、人形、馬形、鳥形、舟形、刀形などがあり、馬形が最も多い。馬形は、鞍の有無で二分され、両者とも8～9世紀を通じて存在するが、鞍を持たないもののほうが多い。鳥形は、屋敷2次や蔵ノ坪遺跡等で出土しているが、8世紀代のものが多く、外に比してやや古い時期に限られる可能性がある。人形は、複数点数がまとまって用いられる場合が多い。

斎串は、上部に刻みを対に入れるものが通有であるが、上下対反対方向のタイプが緒立Cや曾根、船戸川崎遺跡で例があり、古い段階に認められるようである。なお大きさには、大小があるが、全長10cm前後の小型のものは9世紀中葉以降にみられるようになる。なお、箸状木製品は斎串と同じくほとんどの遺跡から認められ、最も基本的な祭祀具である。なお、火鑽板や付木・焼痕のある棒状製品などは、多数認められ、神事に火を用いていたと考えられる。

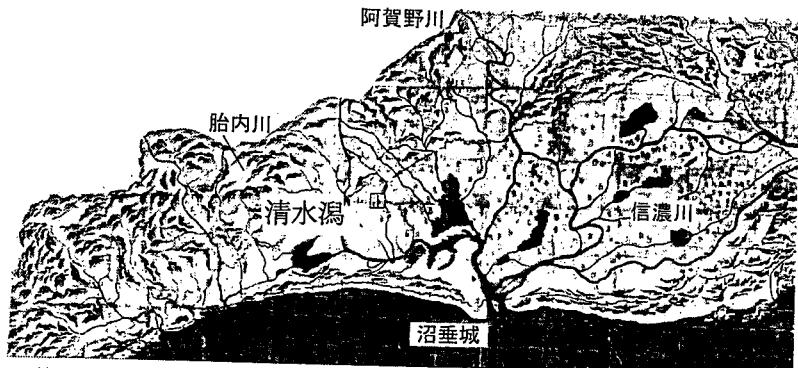
弓は、多くの遺跡からの出土が認められ、すべて白木であることから、祭祀具と考えられる。特に屋敷遺跡からは、大小2張が完形で出土しており注目される。

人面墨書き土器は、船戸桜田2次と緒立Cのみで認められており、前者の場合、川底に正位で置かれた状態で出土した。船戸桜田は8世紀後半代の土師器小甕、緒立Cは9世紀前半代の土師器長甕・小甕が用いられている。

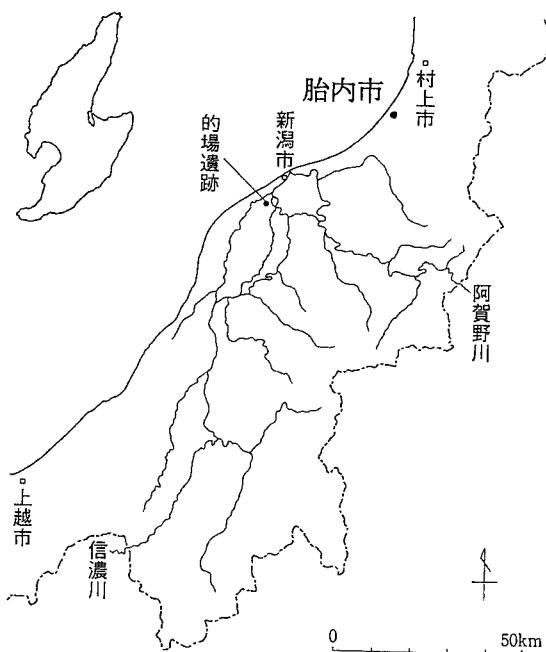
漆塗り製品を含む挽物類は、官衙的な遺跡から170点以上出土している。焼印は、舟戸川水系の船戸桜田遺跡・船戸川崎遺跡・青田遺跡に限られており、無台盤・有台盤に押されるものが多いが、蓋及び曲物に押されているものもある。最も多くの器種が出揃うのが9世紀中葉頃で、この時期に器種の再編が行われた可能性が高い。

3. 越後国の律令祭祀

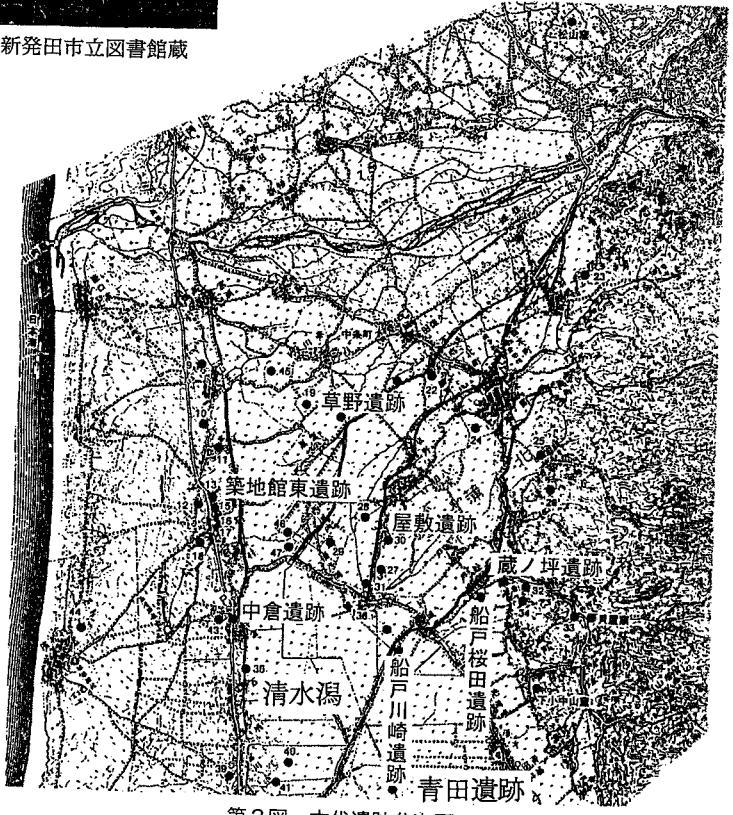
これらの遺跡群を時間軸にのせると、草野、屋敷、築地館東遺跡がやや古くから成立した官衙的な遺跡であるが、8世紀後半に入る頃から遺跡群全体の質的向上がみられ、それがピークに達するのが9世紀中葉を前後する時期である。これは上にふれた挽物類の多様化の時期とも一致しており、北陸では一郡一窯的体制が変質を迎える時期である。そして越後国北辺においては、この段階以降の遺跡内容が充実してくる時期である。それに歩調を合わせて、木製祭祀具を用いた祭祀の在り方も多様化していくのである。



第1図 正保越後国絵図 (1647, 部分, 河川名等を加筆) 新発田市立図書館蔵



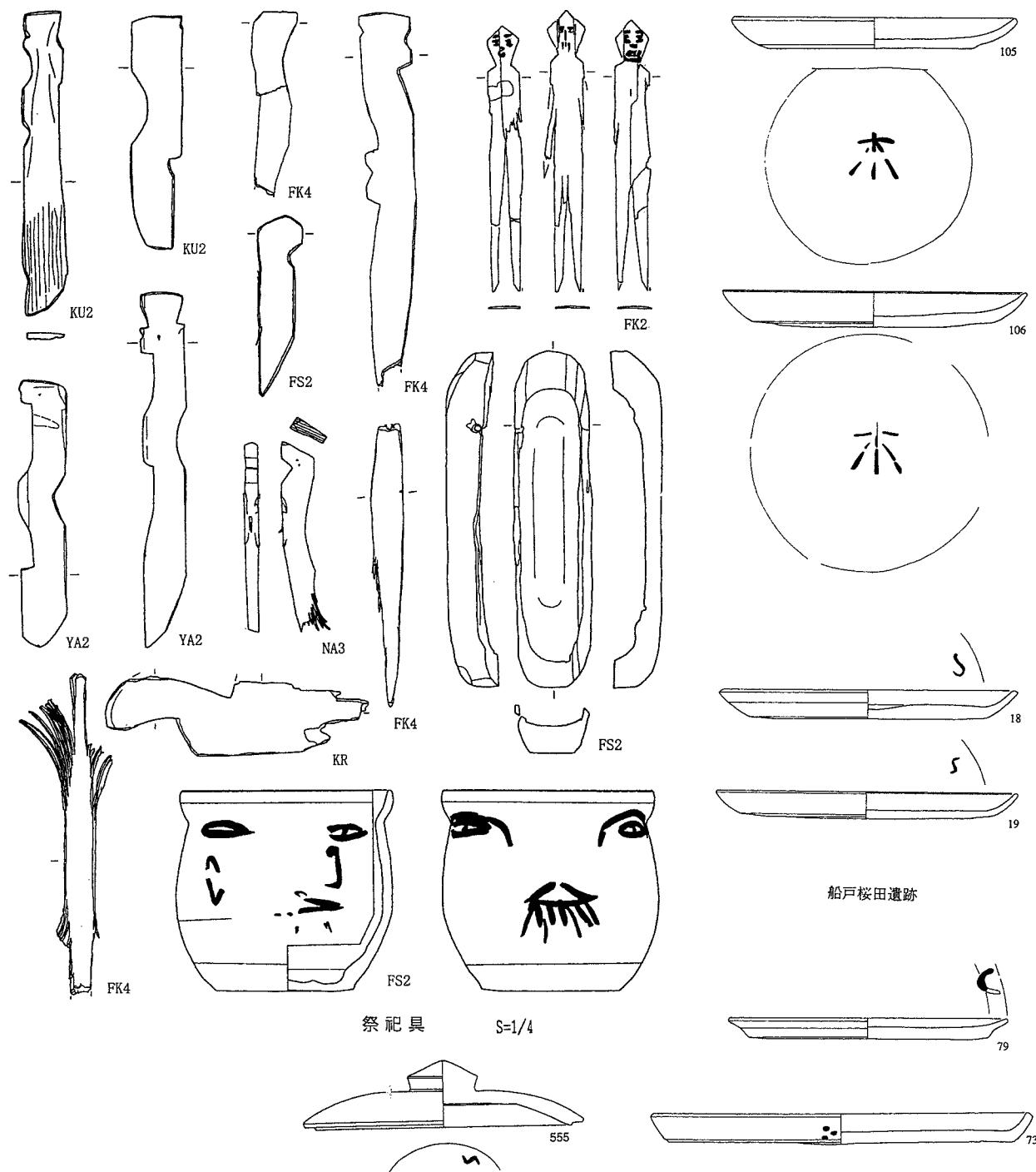
第5図 的場遺跡の位置 信濃川・阿賀野川水系のうち、海への放水路は除いた



第2図 古代遺跡分布図

越後の木製祭祀具一覧

遺跡名	時期	人形	馬形	鳥形	舟形	刀形	弓	斎串	箸状	火鑽	付木	独楽	櫛	檜扇	琴柱	糸巻	鋤鍬	盤類	土器	その他
堂前	7後	○						○											×	
築地館東	8-9前				○	○	○										○	○	△	スタンプ
草野	8前		○	○				○			○						○	○	○	
屋敷	8前-中		○		○	○	○	○	○	○	○						○	○	○	鋸形
藏ノ坪	8-9C		○					○	○	○			○				○	○	○	槍形
船戸桜田	8-10初	○		○			○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	人面墨書
船戸川崎	8-10初	○		○			○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	陽物形
青田	9-10初	○					○	○	○								○	○	○	曲物焼印
中倉	8-9前	○						○	○		○			○			○	○	○	
舟根	8-9C		○	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	○		
発久	8-9C			○	○	○	○	○	○							○	○	○		
緒立C	8半-9			○				○	○	○							○		○	人面墨書
的場	8-10前	○	○		○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
越前	8後-10初				○	○	○	○	○								○	○	○	



分類	木地製品												漆器											
	無台盤	有台盤	蓋	後無台盤	後有台盤	皿	小椀	鉢	大鉢	無台盤	有台盤	皿	杯	椀										
時期	I	II	III	IV	V	VI	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	I	II	III	IV	V	VI	II	III
III 1	■																							
III 2	■																							
IV 1																								
IV 2																								
V 3																								
V 1																								
V 2																								
VI 1																								
VI 2																								
VI 3																								

第7図 挽物消長表

